		⑻　ケイソウ土カラム 内径25～30㎜、長さ130～150㎜で先端にガラスフイルター等が装着されたガラス又はポリプロピレン製カラムにケイソウ土20ｇを詰めたものを用いる。自ら充填するか、同等の充填済み製品を使用する。 ⑼　標準液 ４－アミノジフエニル等のそれぞれ10mgを正確に量り採り、メタノールを加えて溶解し正確に10mlとする。ここから１mlを採り、メタノールで正確に10mlとする。その３mlを正確に採り、メチル－tert－ブチルエーテルで正確に10mlとする。更に、ここから１mlを正確に採り、メチル－tert－ブチルエーテルで正確に１　試験溶液の調製によつて得た試験溶液の液量と同じ容量に定容したものを標準液とする。ただし、同等の調製済み製品及び調製済み混合製品を使用してもよい。 ⑽　内部標準液 内部標準物質として、そのモニターイオンが対象物質に含有される他の芳香族アミン等のフラグメントイオンとクロマトグラム上で重複しないようなものを選択する。ナフタレン－d_8、ベンジジン－d_8、アントラセン－d_{10}等が使用できる。その内部標準物質10mgを正確に採り、メタノールで正確に10mlとする。その２mlを採り、メチル－tert－ブチルエーテルで正確に10mlとする。更に、その１～５mlを採り、メチル－tert－ブチルエーテルで正確に10mlとしたものを内部標準液とする。 ⑾　溶離液１ リン酸二水素カリウム0.68ｇを精製水に溶解し全量を1,000mlとした後に、測定対象物質の分析の妨害となる物質を含まないメタノール150mlを加えたものを溶離液１とする。 ⑿　溶離液２ 測定対象物質の分析の妨害となる物質を含まないメタノールを溶離液２とする。 ⒀　高純度ヘリウム 純度99.999％以上のものを用いる。
アゾ化合物（化学的変化により容易にパラ－フエニルアゾアニリンを生成するものに限る。）	アゾ化合物を含有する染料が使用されている繊維製品のうち、おしめ、おしめカバー、下着、寝衣、手袋、くつした、中衣、外衣、帽子、寝具、床敷物、テーブル掛け、えり飾り、ハンカチーフ並びにタオル、バスマット及び関連製品	左に掲げる家庭用品は、次の試験法による試験に適合しなければならない。 １　試料の調製 ⑴　分散染料が使用されていない繊維製品の場合 天然繊維のみから構成されている繊維製品又は分散染料が使用されていない化学繊維から構成されている繊維製品は、身体と接触する繊維（白色の繊維を除く。）の部分を細かく切つたものを試料とする。 ⑵　分散染料が使用されている繊維製品の場合 分散染料が使用されている若しくはその可能性がある化学繊維から構成されている繊維製品又はそのような化学繊維から構成されている部分が天然繊維から構成されている部分と分離できない繊維製品は、身体と接触する繊維（白色の繊維を除く。）の部分を細長く短冊状に切つたものを試料とする。 ２　試験溶液の調製 ⑴　分散染料が使用されていない繊維製品の場合 １　試料の調製⑴　分散染料が使用されていない繊維製品の場合によつて得た試料1.0ｇを反応容器に正確に量り採り、メタノール２mlを加える。次に、あらかじめ70℃に加温したクエン酸緩衝液15mlを反応容器に入れ密せんし、70±２℃で30分間加温する。次に、亜ジチオン酸ナトリウム水溶液３mlを加え、密せんし激しく振り混ぜた後、70±２℃で30分間加温する。次に、反応容器を２分以内に20～25℃まで冷却する。次に、10％水酸化ナトリウム水溶液0.2mlを加え、激しく振り混ぜた後、ケイソウ土カラムに流し込み、15分間放置する。次に、メチル－tert－ブチルエーテル10mlを反応容器に入れ、激しく振り混ぜ、そのメチル－tert－ブチルエーテルを残留物とともに、ケイソウ土カラムに流し込み、溶出液をナス型フラスコ等に採る。更に、メチル－tert－ブチルエーテル10mlで反応容器を洗い、その洗液をケイソウ土カラムに流し込み、溶出液を当該ナス型フラスコ等に採る。次に、メチル－tert－ブチルエーテル60mlをケイソウ土カラムに流し込み、溶出液を当該ナス型フラスコ等に採る。この溶出液について、ロータリーエバポレーターを用いて50℃以下で乾固しないように約１mlまで濃縮する。これをメスフラスコに移しメチル－tert－ブチルエーテルを加えて２～10mlの範囲で一定量に正確に定容したものを試験溶液とする。 ⑵　分散染料が使用されている繊維製品の場合 １　試料の調製⑵　分散染料が使用されている繊維製品の場合によつて得た試料1.0ｇを正確に量り採り、還流冷却器内に、沸騰した抽出液に直接触れないよう、かつ、冷却凝縮した抽出液が十分に試料に浸潤するように、試料を宙づりに設置する。ナス型フラスコ等に抽出溶媒としてクロロベンゼンを25ml以上加えて加温し、クロロベンゼンが沸騰し、凝縮し、抽出が開始してから30分間還流を行う。還流後、この抽出液を20～25℃まで冷却したのち、ロータリーエバポレーターを用いて45～60℃で少量の残さになるまで濃縮する。その後、メタノール１mlずつ２回に分けてこれを反応容器に移す。その際、１回ごとに超音波浴を用いて染料を分散させる。更に、試料を還流冷却器内から取り出し、試料が完全に脱色されている場合には試料を破棄する。また、試料が脱色されていない場合には、ｎ－ペンタン又はメチル－tert－ブチルエーテルを用いて試料に残留するクロロベンゼンを洗い、除去し、乾燥させた後、細かく切り、反応容器に加える。次に、あらかじめ70℃に加温したクエン酸緩衝液15mlを反応容器に入れ密せんし、70±２℃で30分間加温する。次に、亜ジチオン酸ナトリウム水溶液３mlを加えて、密せんし、激しく振り混ぜた後、70±２℃で30分間加温する。次に、反応容器を２分以内に20～25℃まで冷却する。次に、10％水酸化ナトリウム水溶液0.2mlを加え、激しく振り混ぜた後、ケイソウ土カラムに流し込み、15分間放置する。次に、メチル－tert－ブチルエーテル10mlを反応容器に入れ激しく振り混ぜ、そのメチル－tert－ブチルエーテルを残留物とともに、ケイソウ土カラムに流し込み、溶出液をナス型フラスコ等に採る。更に、メチル－tert－ブチルエーテル10mlで反応容器を洗い、その洗液をケイソウ土カラムに流し込み、溶出液を当該ナス型フラスコ等に採る。次に、メチル－tert－ブチルエーテル60mlをケイソウ土カラムに流し込み、溶出液を当該ナス型フラスコ等に採る。この溶